

# 秋篠宮同妃両殿下お成り

愛媛県立長浜高等学校

10月9日(月)祝



【重松先生と水族館部 部員 富永さん】

「いろいろな水槽にご興味を示され、時間がオーバーするほど熱心にご覧いただきました」



【水族館部 内山先生と部員たち】

「3年前の日本学生科学賞表彰式での『いつか長浜高校水族館に行きたい』という両殿下のお言葉が実現して、感激でした」



両殿下をお迎えしたウツボ



国道には多数の方がお出迎え

# 彬子女王殿下お成り

愛媛県立長浜高等学校 10月3日(火)



【水族館部顧問】

「いろいろな魚を熱心に見ていただき、興味を示された。とても話しやすい方でした」



彬子女王殿下をお迎えしたサンゴとクマノミ

## 皇室の構成



## 秋は祭りだ わっしょい ～河辺ふれあいフェスタ2017～



河辺ふるさとの宿で、10月15日(日)、河辺ふれあいフェスタ2017が開催されました。

文化協会、幼稚園児、小学生による発表会をはじめ、ジョイフルダンスのダンス、ちびっこ和太鼓サークル「和奏」の演奏、作品展示、体験コーナーなどの催し物がありました。

小雨の降るあいにくの天気でしたが、来場者は河辺の秋を満喫し、楽しい1日を過ごしました。

## たくさん本を読んでね ～図書贈呈式・肱北保育所～

国際ソロプチミスト大洲による図書の贈呈式が10月19日(木)、肱北保育所で行われました。この事業は、心豊かな子どもの成長を願い、各保育所で毎年実施されています。

贈呈式では、峯洋子会長から「面白い本を選びました。本をたくさん読んで大きく育ててください」と絵本30冊が贈呈されました。その後、お礼として、年長組児童による歌と踊りが披露されました。



## 「肱川あらし」を紅白に



9月25日(月)、長浜自治会の東信利会長、長浜まちづくり協議会の戎範久会長、肱川あらし予報会の濱田毅会長がNHK松山放送局を訪れ、肱川あらし観光大使である伍代夏子さん「肱川あらし」のNHK紅白歌合戦出演を求める要望書および署名簿5,700人分を提出しました。

大晦日の紅白歌合戦で「肱川あらし」が披露されることを願います。

## 大和太陽の広場～地域をあげて～

10月15日(日)、大和地区で恒例の「大和太陽の広場」が開催されました。降雨のため、イベントの一部を中止し、旧大和小学校校舎および大和体育館での開催となりましたが、地域住民をはじめ、市内外から家族連れなど大勢の来場者が訪れました。

旧校舎内では作品展示やバザーなどが開かれ、また体育館では大和地区の児童による「豊年踊り」などの芸能発表が行われました。最後は、盛大な餅まきも行われ、会場は大いににぎわいました。



晴天に恵まれて 大洲まつり・おおず浪漫祭

大洲まつり・おおず浪漫祭が11月2日(木)、3日(金)、肱南・肱北地区で開催されました。

2日に行われた大名行列では、大洲藩士の衣装をまとった約260人が市内を巡りました。昨年から復活した歩きながら雅楽を演奏する「道楽」も行われ、沿道には多くの人が集まりました。

3日には、緑地公園で「おまつり村」が開催され、郷土芸能の発表会のほか、たくさんさんの露店が並び、多くの人でにぎわいました。

おはなはん通り周辺では「おおず浪漫祭」が開催されました。会場



では、大洲市出身の落語家、立川志ら門さんによる凱旋落語のほか、紙芝居やレトロな露店が並びました。また、メインイベントのレトロウエディングでは、2組の夫婦が式を挙げました。夫婦は、ちんどんグループによる演奏のほか、たくさんさんの来場者から祝福を受けました。挙式後、新婦のフィリピン人のジャッキーさんは「子どもの頃から、着物を着るのが夢だった。故郷とは違う文化を楽しめた」、もう1組の神田夫婦は「来年はぜひ祝う側で参加したい」と話していました。

大洲の“ええモン”が日本一に

「全国の地方新聞社が選んだ！こんなのあるんだ！大賞2017」の審査投票会および表彰式が、10月16日(月)、東京にて開催されました。その商品部門で、東大洲の「ピストロサンマルシェ」が地元農家の沖野順一さんと開発した「杵つき餅カレー」(大洲ええモンセレクション認定品)が、大賞に選ばれました。

シェフの奥田広司さんは「やっとスタートラインに立てた気持ち。地産多消を目指し、地元こだわった商品を開発したい」と話しました。



国際大会への出場を前に

八幡浜工業高等学校のチームは、9月に東京で開催されたロボット競技の「WRO (ワールド・ロボット・オリンピック)」の全国大会で、2位に入賞し、国際大会への出場を決めました。

メンバーの1人である五郎在住の山中直人さんが、10月16日(月)、市役所を訪問しました。山中さんは、「全国大会では、2位で終わったが、国際大会では優勝を目指したい」と意気込みを話していました。



# 大洲商工会議所青年部 大洲ご当地クイズ



- ③ 約60m
- ② 約45m
- ① 約15m

**【今月のクイズ】**  
 11月23日(木)に開催の、白滝  
 るり姫祭り。滝つぼへ花みこ  
 しを投げ落とすのですが、滝  
 つぼまで、何があるでしょ  
 か。

年の暮れが近づきました。今年  
 1年、青年部活動へのご支援にご  
 理解をいただき、誠にありがと  
 ございました。来年も、大洲の商  
 業、観光、未来の発展に少しでも  
 貢献できるように活動して参りま  
 す。来年もよろしく願います。

※今月号のクイズの答えは、広報  
 おおず1月号に掲載します。



正解：②  
 雅楽は世界最古のオーケストラ  
 とも言われています。お成り行列  
 で雅楽演奏するのは、大洲雅楽同  
 好会のメンバーです。鶺鴒船の水  
 上演奏や、イベントで演奏を披露  
 しています。メンバーのほとんど  
 が知識ゼロから始めた人ばかりだ  
 そうです。みなさんもチャレンジ  
 してみてはいかがでしょう。

**【11月号のクイズ解答・解説編】**  
 お成り行列で復活した道楽とは  
 歩きながら何をする事でしょう  
 か。  
 ① 蹴鞠  
 ② 雅楽演奏  
 ③ 短歌を詠む

## 野鳥



オシドリ (鴛鴦)  
 カモ目カモ科  
 全長 45cm

山手の川や池、ダム湖で冬鳥としてやって来る  
 世界で最も美しいと呼ばれているカモの仲間です。

体の美しさとは裏腹に、200m位近寄っても飛  
 び去ってしまうほど臆病で神経質な鳥です。ダム  
 湖の左岸の岩場に実るカシの実に寄せられて集  
 まっていたようです。

鹿野川湖には一時期、日本に生息するオシドリ  
 の3分の1、約3,000羽も飛来していました。し  
 かし、バス釣りのブームや生息場所の悪化で、現  
 在は約800羽に激減しています。特に、ラムサ  
 ール条約(国際的に水鳥の生態を守る地域)の候  
 補にも挙げられている鹿野川湖は、行政や民間の  
 知恵を出し合えば、大洲市の知名度を上げる登  
 録はもちろん、オシドリたちにとっても安心して越  
 冬できる場所にあるような気がします。

NPO法人かわうそ復活プロジェクト

## 文化財



王陽明画像  
 大洲市指定有形文化財(絵画)  
 大洲市所有

当画像の作者小原慶山(?~  
 1733)は、幕府御用絵師狩野益信に学んだのち長  
 崎に移って漢画を学んだ人物です。大洲藩校の教  
 授川田雄琴の『止善書院記』によれば、慶山は王  
 陽明の画像を2幅描いたとされ、そのうちの1幅  
 は近江(現在の滋賀県)の藤樹書院に、もう1幅  
 は陽明学者三輪執斎が建立した明倫堂(江戸)に  
 納められたと記されています。

明倫堂に納められた当画像は、執斎が大洲へ赴  
 く弟子の川田雄琴に授けたもので、延享4年(1747)  
 の藩校「止善書院明倫堂」落成後は、藩校内にま  
 つられました。同じく市指定有形文化財の「孔子  
 木像」とともに礼拝の対象とされた当資料は、大  
 洲藩校の歴史を知る貴重なものと言えます。

(昭和53年1月26日指定)